



求めていたのは 経鼻×ハイビジョン

対策型胃がん検診で内視鏡検査が推奨されたことにより
ますます経鼻内視鏡の需要が増加することが予想されます。
クリニックの先生方が経鼻内視鏡に求めていた
“患者さまの負担を軽減する高い挿入性と微細な病変も見過ごさない観察性能の両立”
無く、やわらかく、高画質に
相応する経鼻内視鏡の群像にオリンパスの技術は応えます。
[The New Basic] 経鼻内視鏡検査はハイビジョンの時代に入りました。

進化した経鼻内視鏡がより確かな診断をサポート



ハイビジョン対応

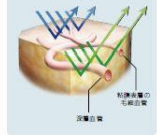
高解像 CCD を採用し、解像度が従来技術の約 2 倍に
向上したハイビジョン対応スコープをラインアップ
。高解像度の映像の伝送も高画質の伝送システムを採用し、
高画質な映像の伝送をサポートします。

NBI (Narrow Band Imaging)

粘膜血管の赤色光や青色光を透過して観察表示
され、病変の早期発見に繋がる観察効果として
広く活用されています。高画質の映像をサポート
します。

血管走行が強調表示される NBI

NBI (Narrow Band Imaging) は粘膜血管の赤
色光や青色光を透過して観察表示され、その
透過した光が粘膜の血管に吸収され、その結果
として血管の走行が強調表示され、血管の走行
がよりよく観察され、血管の走行と病変との
関係がよりよく観察され、病変の早期発見に
繋がります。



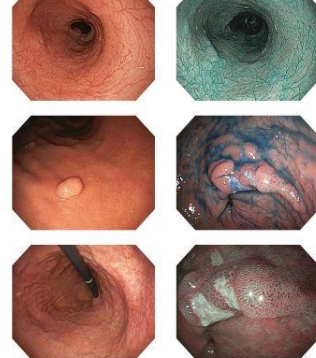
GIF-H190N

経鼻×ハイビジョン

GIF-H190Nは5.4mmの先端径で約15gから、患者のイメージセンサーや光学系を採り出すことで
高解像度のハイビジョン映像を撮影します。また、鏡筒光学系を改良することで中継鏡の明るさを向上させています。

通常観察

NBI/色覚観察



経鼻挿入時の苦痛低減と挿入性向上

経鼻内視鏡挿入時の患者負担を低減し、柔らかいシャフトを採用しました。
また、しなやかさも向上したことで十二指腸への挿入性も向上させました。